

## 参考資料 引用文献

- 阿部永. 1998. 食虫類とは何か. 食虫類の自然史. 阿部永・横畑泰志編. 比婆科学教育振興会. 庄原.
- 江崎保男・和田岳編著. 2002. 近畿地区・鳥類レッドデータブック. 京都大学学術出版会.
- 井上龍一. 2003. 矢田丘陵の自然観察(4). pp16 大和郡山市立少年自然の家. 大和郡山市.
- 角田保. 1972. 大杉谷・大台山系の爬虫・両生類相. 大杉谷・大台ヶ原自然科学調査報告書. pp.167-182+ I-IV. 三重県自然科学研究会.
- 環境省. 2012. 環境省第4次レッドリスト(2012). 環境省自然環境局野生生物課.  
[http://www.env.go.jp/press/file\\_view.php?serial=20553&hou\\_id=15619](http://www.env.go.jp/press/file_view.php?serial=20553&hou_id=15619)
- 環境省自然保護局. 2001. 生物多様性センター. 生物多様性調査動物分布調査(両生類・爬虫類)報告書.
- 川瀬浩. 2012. 特集奈良県コマドリ調査3カ年を終えて. 日本野鳥の会奈良支部報いかる, 139:1-3.
- 岸本年郎・日比伸子. 2009. 大台ヶ原のユニークな昆虫類. 柴田叡弑・日野輝明編「大台ヶ原の自然誌ー森の中のシカをめぐる生物間相互作用」. p. 25-34. 東海大学出版会.
- Kitahara, E. 1993. Relationships between habitat and renal function in water conservation in the Anderson's red-backed vole, *Eothenomys andersoni* on the Kii peninsula, Japan. 森林総合研究所研究年報. 364:115-124.
- コウモリの会. 2005. コウモリ識別ハンドブック. 文一総合出版. 68pp.
- 箕口秀夫. 2001. 動物たちの気になる行動(30) ネズミの貯食行動と種子散布. 遺伝 55:10-12.
- 奈良県. 2006. 大切にしたい奈良県の野生動植物ー奈良県版レッドデータブックー脊椎動物編.ー哺乳類・鳥類・爬虫類・両生類・魚類ー. 143 pp. 奈良県農林部森林保全課, 奈良.
- 奈良県. 2008. 大切にしたい奈良県の野生動植物ー奈良県版レッドデータブックー植物・昆虫編. 427 pp. 奈良県農林部森林保全課, 奈良.
- 奈良県くらし創造部景観・環境局自然環境課. 2011. 平成23年度コマドリ大峰山系等生息調査報告書.
- 奈良県くらし創造部景観・環境局自然環境課・日本野鳥の会奈良支部. 2010. 平成22年度コマドリ緊急調査報告書.
- 日本野生生物研究センター. 1985. 昭和59年度環境庁請負調査特定自然環境地域保全管理計画策定調査報告書(大台ヶ原保全基本計画策定調査).
- 佐山勝彦・楨原寛・井上大成・大河内勇. 2005. 誘引衝突式トラップを用いたカミキリムシ相のモニタリング調査. 森林総合研究所研究報告, 4(3):189-199.

- 関島恒夫. 2008. 種間競争と共存ーアカネズミとヒメネズミ. 日本の哺乳類学 1 小型哺乳類. (本川雅治編). p247-272. 東京大学出版会. 東京.
- 清水善吉. 2009. 紀伊半島大台ヶ原一帯の哺乳類相. 三重自然誌 12 号. pp2-21.
- 清水善吉・梅村有美. 2009. 紀伊半島大台ヶ原一帯の爬虫両棲類相. 三重自然誌 12 号. pp22-37. 三重自然誌の会.
- Takada, M., Baba, Y.G., Yanagi, Y., Terada, S. & Miyashita, T. 2008. Contrasting responses of web-building spiders to deer browsing among habitats and feeding guilds. *Environmental Entomology*, 37: 938-946.
- 富田靖男. 1972. 大台ヶ原山および大杉谷の両生類ならびに爬虫類. 三重県立博物館自然科学報告書第 4 報. 大台ヶ原山および大杉谷の自然. pp.10-14. 三重県立博物館.
- 山下善平・大川親雄・島地岩根・市橋甫・村井俊郎・橋本理市・富田靖男・坂部元宏・中西元男・倉田忠. 1972. 大杉谷および大台ヶ原山の昆虫相ならびに樹上クモ相. 大杉谷・大台ヶ原・自然科学報告書, pp.195-285. 三重県自然科学研究会.
- 池田浩一. 2005. 福岡県におけるニホンジカの保護管理に関する研究. 福岡県森林林業技術センター研究報告. 6:1-93.
- 宇野裕之・玉田克己・平川浩文・赤松里香. 2002. GPS テレメトリーの測位成功率及び測位精度の評価. *哺乳類科学*. 42 (2): 129-137.
- Yamazaki, K., S. Kasai, S. Koike, Y. Goto, C. Kozakai and K. Furubayashi. 2008. Evaluation of GPS collar performance by stationary tests and fitting on free-ranging Japanese black bears. *Mammal Study*. 33: 131-142.
- 伊藤武夫. 1938. 三重県植物誌 上、下
- 小清水卓二. 1943. 大台原及大杉谷の植物景観. 採集と飼育 5(1):14-20
- 矢頭顕一. 1957. 紀伊半島森林植物学研究資料 IV 紀伊半島産木本植物目録. 三重大学農学部学術報告 19:15-104
- 井手久登・亀山章. 1972. 大台ヶ原の植生. 応用植物社会学研究 1:1-48
- 土永浩史・中西哲. 1984. 大台ヶ原のブナ林・トウヒ林における着生蘚苔類の生態について. 神戸大学教育学部研究集録 73: 61-70
- 辻元善次. 1987. 奈良県のシダ植物. 奈良植物研究 10:11-18
- 土永浩史. 大台ヶ原山の蘚苔類 I. 1988. 南紀生物 30(1):14-23
- 土永浩史. 大台ヶ原山の蘚苔類 II. 1988. 南紀生物 30(2):87-97
- 土永知子・土永浩史・菅沼孝之. 1989. 大台ヶ原山、山上域の植物相 I. 南紀生物 31(1):13-18
- 土永浩史. 大台ヶ原山の蘚苔類 III. 1989. 南紀生物 31(1):45-52
- 土永知子・土永浩史・菅沼孝之. 1989. 大台ヶ原山、山上域の植物相 II. 南紀生物 31(2):87-93
- 土永浩史. 大台ヶ原山の蘚苔類 IV. 1989. 南紀生物 31(2):101-107
- 土永知子・土永浩史・菅沼孝之. 1990. 大台ヶ原山、山上域の植物相 III. 南紀生物 32(2):123-128

土永知子・土永浩史・菅沼孝之. 1991. 大台ヶ原山、山上域の植物相IV. 南紀生物  
33(1):25-31

岡本勇治、松村義敏. 1937. 大和植物誌. 大和山岳会 (覆刻版: 川端一弘. 1997)

森本範正・瀬戸剛・菅沼孝之・横田岳人・松井淳. 大台ヶ原山において 2002 年か  
ら 2005 年に採集した植物標本目録. 2006. 奈良植物研究 29:27-39